

# つなぐ

校成病院だより

第3号

平成28年12月



特集

冬に注意？！心臓の病気  
～循環器内科

校成病院の理念 しんかん  
「真観」  
正しく見て正しく手当てる。

基本方針

1. 「からだ」・「こころ」・「いのち」を一つと観る全人的医療を行います。
  2. 患者さんと家族に信頼され、地域で喜ばれる病院を目指します。
  3. 誇りと願いをもち、温かいふれあいを実践します。

## もくじ

# 新病院3年目を迎えて

すだ ますお  
事務部長 須田 益朗



佼成病院は昭和27年から64年間、中野区弥生町で医療を提供してきましたが、建物や設備の老朽化が進み同じ場所での新築が不可能だったため、平成26年9月、杉並区和田に新築移転し、おかげさまで3年目を迎えることができました。

私は本年4月に事務部長を拝命し、現在は多くの方に支えていただきながら病院運営に携わっております。本日は私が日々大切にしていることを述べまして、遅ればせながらの自己紹介と新病院移転3年目の挨拶に代えさせていただければと存じます。

## 職員一人ひとりの接遇

当院を親子三代で数十年間ご利用いただいているご家族がいらっしゃいます。車で30分かけてご利用いただいている理由は、初めて利用したときの医師・看護師・事務職員の接遇が良かったからなのだと思います。医療は患者さん・ご家族との信頼関係の上に成り立ちますから、出会う職員一人ひとりが相手を尊重し温かい接遇を重ねることが求められると考えています。

## 朝のあいさつ

私は毎朝8時から30分間、正面玄関で立礼し「おはようございます」とあいさつをさせていただいています。朝の立礼・あいさつは前職の佼成育子園（東京都認可保育園）から通算15年になり、始業前の良い習慣・リズムになっています。当院正面玄関前の通路は杉並区立和田小学校の通学路に指定されており、登校する生徒さんにあいさつを続けてすることでコミュニケーションが深まるなど、心癒される時間もあります。



## ボランティアさんの力

1階「観音ホール」では、患者さん・ご家族・地域の方々を対象とした各種講演会やコンサート等を定期的に行ってています。コンサート出演は学生さんからプロの方まで、ボランティアの皆さんにご活躍いただいています。

3年前に訪問した台湾佛教慈濟慈善事業基金会の病院は、各種ボランティアさんの活動・貢献が顕著な病院で、大変感銘を受けました。

当院もボランティアさんが「自分たちの病院」と思い活躍され、多くの方に喜んでいただけるよう、更なる充実を図りたいと考えています。

## 東京都災害拠点病院としての役割

当院は東京都災害拠点病院ですから、災害時には杉並区医師会等の先生方にご協力いただき、主に重症者の収容・治療が可能な医療体制を整えています。日頃から各種訓練・研修を行っておりますが、今年度は災害訓練活動技術が評価され、杉並消防署主催「自衛消防技術確認」審査において最優秀賞を受賞し皆で喜びました。



佼成学園プラスバンドコンサート。  
会場は熱気に包まれました。

現在は、平成27年4月に就任した甲能直幸院長を中心に、副院長・看護部長・経営企画室長と共に毎朝ミーティングを行い病院運営に関する各分野からの情報を共有し、日々改善に向けて取り組んでおります。

また、地域の安心・安全の拠点として貢献するためには、職員が安定した状態で働く職場環境を整えることが運営者層の責務だと考えております。

地域の皆さんから信頼され続ける病院を目指し、努力を重ねていく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



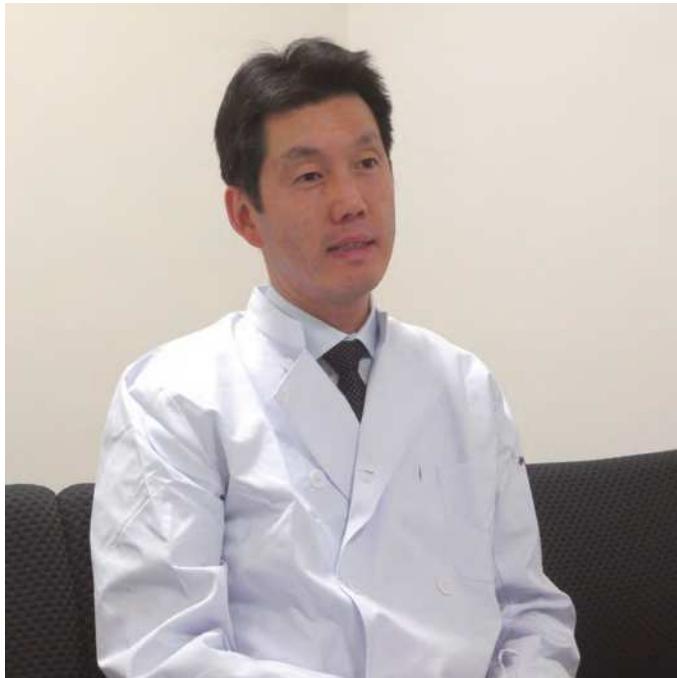
事務部長  
須田益朗。  
佼成育子園で  
10年以上に渡り  
園長を務めた後  
佼成病院に着任。

優しい笑顔が  
トレードマーク。  
周りの人に注ぐ  
愛情は無限大。

## 特集

# 冬に注意？！

## 心臓の病気～循環器内科



循環器内科部長 鈴木 和仁医師

### 心筋梗塞、狭心症、心不全について 教えてください。

体全体に酸素や栄養素を送る動脈が老化し硬くなったり、様々なものが詰まって狭くなることを動脈硬化と言います。動脈硬化が進むと血管が狭くなり血流が悪くなります。

心臓にある冠動脈の硬化により、心臓の筋肉が壊死してしまうのが心筋梗塞、胸の痛みや圧迫感を起こすのが、狭心症です。

心臓がポンプの役目を果たせず、全身の血液の流れが悪くなってしまうのが心不全です。心筋梗塞が進んで心不全になる場合もあります。

### 治療法はどのようなものがありますか？

カテーテルによる治療と、服薬する内科的な治療と、大きく2つに分かれます。心不全の方は服薬がメイン、狭心症・急性心筋梗塞の方はカテーテル治療がメインとなります。

カテーテル治療とは、手首や足の付け根の血管から「カテーテル」と呼ばれる細い管を入れて詰まってしまった動脈を広げる治療法です。カテーテルそのものは心臓の検査にも使用します。この治療法は、1977年にスイスの医師が初めて行いました。最初は血管を風船で広げるような治療法でしたが、最近は「ステント」と呼ばれる血管を広げる小さな金具をよく用います。それまでは、服薬治療か、症状が重い場合は「バイパス術」という外科的な開胸手術を行っていました。

ですから、内科的な治療の中にカテーテルが入ってきたのは30～40年前からで、ごく最近のことですね。カテーテルと外科的なバイパス手術どちらが良いかということについては、患者さんの状態によりケースバイケースです。

寒さも本番となり、毎日気温の低い日が続いています。寒い冬に注意する病気には、インフルエンザなどの感染症、神経痛などの整形外科疾患など、多くの疾患が挙げられますが、今回は心臓の疾患について取り上げたいと思います。

心臓の病気と言っても、健康な時には前兆を見逃しがち。でも、先進国では心臓の病気は悪性腫瘍に続き死因第2位です。どんな症状があり、何に注意すれば良いのでしょうか。循環器内科 鈴木 和仁部長に話を伺いました。

### 秋冬というと何となく心臓病のイメージです

そうですね。寒くなってくると血圧も上がる所以、心臓だけでなく、脳血管の病気などが発症しやすくなります。心不全や心筋梗塞などの病気はやはり圧倒的に冬場が多いです。

### 当院で多い疾患は何でしょうか？

当院で比較的多い症例は、高齢者に特有な心不全です。あとはやはり寒くなってきたので心筋梗塞でしょうか。

心筋梗塞は50代60代の男性、60代70代の女性が多く、80歳以上の方は狭心症や心筋梗塞より心不全が多いです。



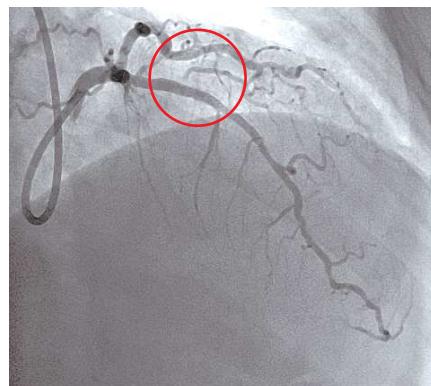
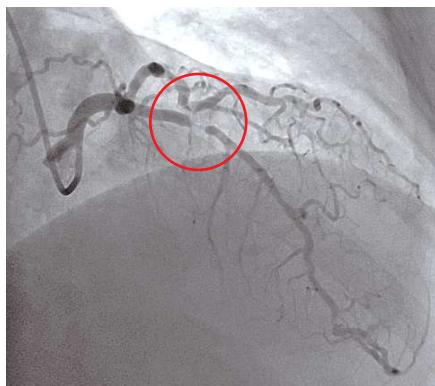
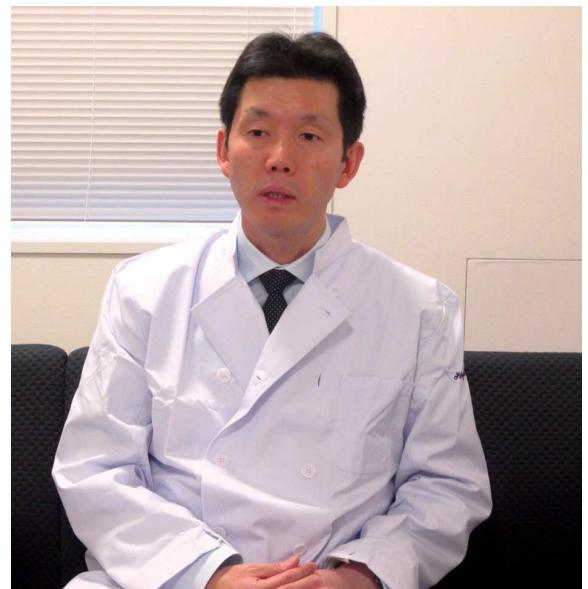
血管撮影室。宇宙空間のよう？！

## カテーテル治療にはどのくらい時間がかかりますか？

症状にもよりますが、およそ1時間程度でしょうか。短いですね。入院期間も、急性心筋梗塞で運ばれたという場合は、ある程度体にダメージを受けているので、1～2週間掛かることもありますが、狭心症でカテーテル治療を行うとなると2泊3日など、短期間で済むことが多いです。

また、麻酔も局所麻酔で行うことが多いので、意識もありますし話をすることもできます。造影剤という、レントゲンに写るお薬を入れて、心臓を写しながら治療を行っていきます。

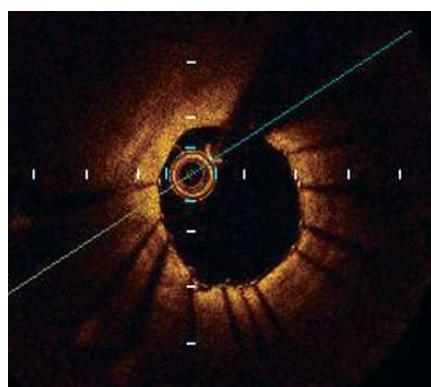
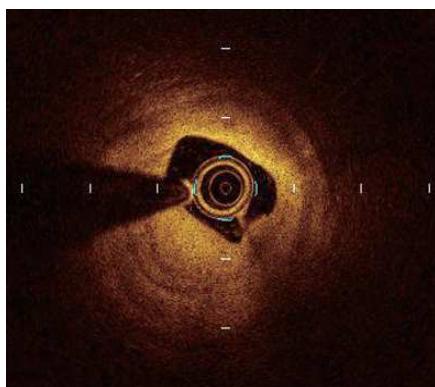
もちろん合併症などの危険性がゼロとは言えませんが、短期間で社会復帰することができる安全な治療法です。



写真左  
レントゲンに写しだされた治療前の血管です。  
赤丸の箇所の血流が見えません。

写真右  
治療後。血流がよみがえり血管がくっきりと見えます。

カテーテル治療の前と後の比較です！  
すごいでしょう？！



写真左  
治療前の血管の内部です。  
狭くなっているのがよく分かります。

写真右  
治療後の血管の内部です。  
カテーテルが細く見えるほど血管が広がりました。

## 心臓の病気の前兆ってあるのでしょうか？

そうですね、一般的には「胸が痛い」「息が苦しい」「動悸がする」ということが言われます。これは、例えば普段の生活で階段を昇って息切れがする、というのとはちょっと違うと考えてください。また、「腕が痛い」「背中が痛い」と訴える方もいます。これは、心臓に対する痛みの神経回路が混線を起こして発生するもので、関連痛と呼ばれるものです。人によって症状の出方は様々です。でも、少しでも「いつもと違う」と感じたら、早めに来ていただくのが良いと思います。特に高血圧、糖尿病、高コレステロールなど、リスクがある方は尚更注意してください。

## 早く病院に行くことが大切なんですね。

そうなんです。心臓の場合なるべく早く治療を開始することが求められます。ですから、心室細動（※）や不整脈などで心肺停止になってしまったなら、AEDなどで一刻も早く蘇生することが大切なことです。（※心室細動）心室の筋肉の規則的な収縮が失われ、心室のポンプ機能は失われ、血液を送り出せなくなる状態。



## ところで先生はどうしてカテーテルが専門なんですか？

うーん、心臓が好きだからでしょうか！（笑）

学生時代にカテーテル治療を初めて見て、とても感動しました。それが一番のきっかけです。「狭いところを広げて良くなる」ってすごいな、と思いました。

これはカテーテルだけでなく、服薬の治療でもそうですが、治療をすると心電図検査の結果も症状もすぐに改善することが多いんですよ。運び込まれた患者さんが目の前で良くなって、歩いて退院できるというのがとても良いんです。

だから心臓が好きなのかな（笑）



## 医師になろうと思ったきっかけは何ですか？

私の実家は山梨県で製菓業を営んでいるのですが、中学生の時父親が病気になって手術をしてしまった。その時の先生が良い方で憧れたことがきっかけです。

医師になって、カテーテルがうまくいかなかったりしてつまづいたこともあります。

でも、やっぱり「ありがとうございました」と患者さんやご家族の方に言っていただけると嬉しいですね。

## 診察の際心がけていることを教えてください。

患者さんの話を丁寧に訊くことです！

## 今後、佼成病院の循環器内科をどのようにしていきたいですか？

地域の人に愛される循環器科にしていきたいですね。救急患者さん、開業医の先生、地元住民の方に信頼され、愛される循環器内科です。



## 医師のご紹介

循環器内科部長 鈴木 和仁

医学博士

日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会循環器専門医

日本心血管インターベンション学会評議員

日本心血管インターベンション治療学会専門医

山梨大学卒業。

東京女子医科大学循環器内科、聖隸浜松病院循環器内科を経て佼成病院着任。

2014年より循環器内科部長。

趣味はスポーツ。野球、テニス、剣道。剣道は3段の腕前。

最近はDMATの一員として災害医療にも力を注ぐ。ソフトな笑顔は患者さんにもスタッフにも大好評！



写真下

昨年秋に行った防災訓練時の写真。  
当院のDMAT隊、右から2番目が鈴木医師です。



## 【循環器外来一覧表】

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	●	●	●
午後	予約	予約		予約	予約	
専門外来（午後）	睡眠時無呼吸外来	心臓リハビリ外来		ペースメーター外来		
心臓血管外科（午後）		●（第2週）				
土曜日 専門外来（午前）		●（第2週） 睡眠時無呼吸外来		●（第4週） 睡眠時無呼吸外来		

## 東京消防庁から感謝状をいただきました

俊成病院では、9月に東京消防庁から2件感謝状をいただきました。その内特に院内の話題をさらった1件は、AEDを使った人命救助です。感謝状をもらったのは、今年4月に入った看護師1年目の笠原安恵さん。帰宅途中に道で倒れた女性を発見、AEDを使って蘇生したとのことで、今回の表彰となりました。

笠原さんは「今年4月から看護師として働き始めたばかりでこのような場面に立ち合い、驚きと不安もありました。それでも、救助後、少しずつ



笠原安恵さん（右）  
現在ICUに勤務しています。



回復されていることを聞き、看護学校の授業やICU勤務の中で学んできて良かったと感じています。」と話しています。

また、もう1件の感謝状は、救急車の応需率が評価され、病院として表彰いただきました。

俊成病院は、今後もスタッフ一同、地域医療に貢献できるよう力を注いでまいります。

### 写真左

前列左から3番目、高橋信一副院長。続いて笠原看護師。周りを囲む看護部スタッフと事務部スタッフ。「表彰式だよ！」という掛け声で、なぜか（？）いっぱい人が集まる、あたたかい病院です。



## セシオン健康講演会にお越しいただき ありがとうございました



11月16日（水）、セシオン杉並で健康講演会が開催され、当院から高橋信一副院長、齋藤由希保健師、佐々木裕子管理栄養士が講演を行い多くの方に参加いただきました。

今回のテーマは「免疫力」。運動や食生活と関係の深い免疫力について会場の皆さんからは多くの質問をいただきました。次回の講演会の開催が決まりましたら、またお知らせいたしますので、ぜひお越しください。お待ちしています！



## MOA美術館 杉並児童作品展を開催しました

俊成病院では、12月上旬、MOA美術館 杉並児童作品展を開催しました。

子供たちの入賞作品37点が、1階ロビーを彩りました。絵からあふれるエネルギーが見ているこちらまで伝わり、元気がもらえるような絵がたくさん。

寒い冬に、ホッと暖かくなる作品展でした。



天井の高い空間に作品が  
よく映えます。



## てくてく杉並散歩 vol.3 「和田帝釈天通り」

佼成病院のすぐ北側に、その商店街はあります。前々回に取り上げた、妙法寺の参道として、江戸時代は「妙法寺道」と親しまれたこの道は、現在『和田帝釈天通り』とも、「和田商店街」とも呼ばれています。

八百屋さんからお肉屋さん、文房具屋さん、自転車屋さんなど、商店街の店構えは実に様々。



写真上  
和田帝釈天。  
考え方をしながら歩くと  
通り過ぎてしまうのでご注意。



写真上  
杉並区教育委員会によって設置された案内版。歴史好きには興味深い1枚です。



環状七号線からの入り口にある看板、通りの向こうに見えるのは妙法寺へ続く商店街の看板です。

ただ一つ共通しているのは、ここには

古き佳き街並みとともに、ほのかなあたたかさが残っているということ。

朝は通勤通学の人が足早に通り過ぎ、昼は道のあちらこちらで話をするご婦人たち、夕方は猫を愛する優しそうなお年寄りと、気持ちが和む風景がそこにあります。

商店街の中ほどには、「和田帝釈天」がひっそりとたたずみ、街を見守っています。  
お天気が良い日に、ぜひ散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。

SUGARINI CITY



## 我ら自衛消防隊！～自衛消防訓練審査会「最優秀賞」受賞



自衛消防隊。

それは勇気と人間愛に満ちた精銳たちのドラマ。

え、精銳に見えない…？そう、この3人は普段は本当に穏やか。人事業務や設備業務に携わっており、どんな時も笑顔を欠かしません。

その3人が真剣な表情で走り回っているこの写真は、この秋に行われた杉並消防署主催の自衛消防訓練審査会の様子です。この審査会は火災の発生から消火活動や避難誘導まで、自分たちの事業所内で本番を想定して行われるものです。



左から、財務課 小太刀基之、総務課主任 藤田修弘、総務課 金子公亮。  
院内で見かけたらぜひお声掛けくださいね！

佼成病院自衛消防隊は、

18事業所中最優秀賞を受賞、喜びに湧きました。

総務課藤田修弘主任は、「様々な場所であらゆる想定をして訓練しました！」とコメント。院内を夜遅くまで3人が歩き回り練習していたことを思い出し、納得。



佼成病院は、これからも安心・安全をめざし努力してまいります！



**立正佼成会附属佼成病院**

〒166-0012

東京都杉並区和田 2-25-1

TEL 03-3383-1281（代表）

<http://www.kosei-hp.or.jp>

